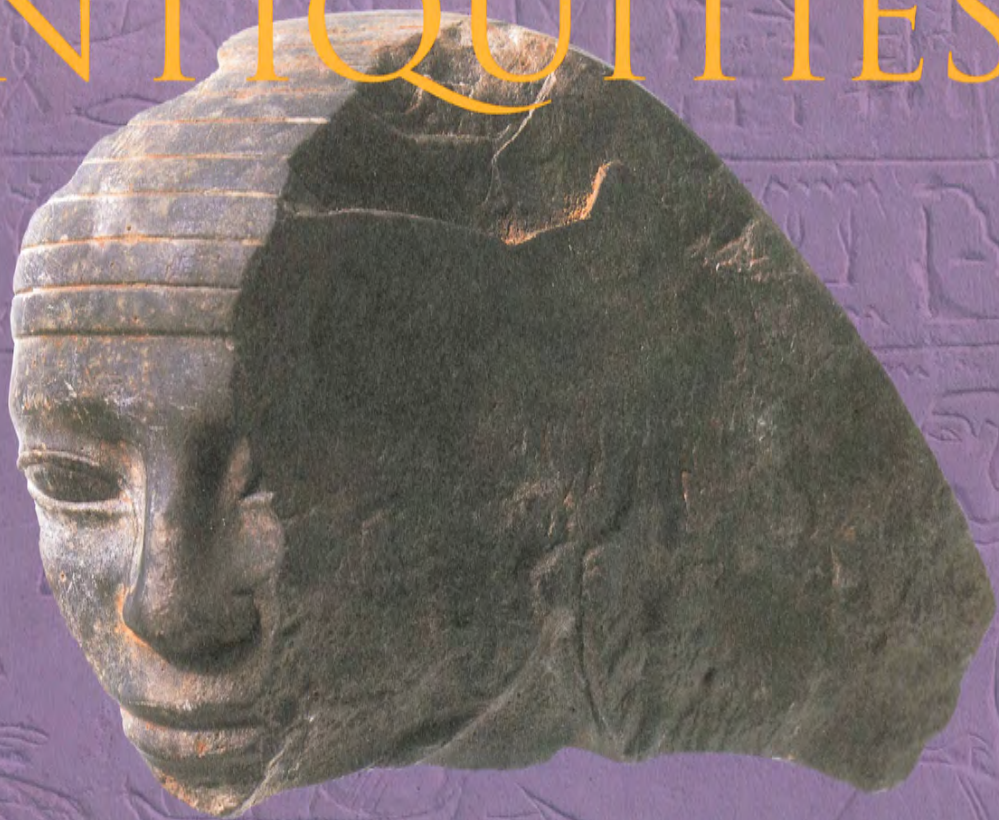


開館10周年記念企画展

# EGYPTIAN

ペトリーと濱田が京大エジプト資料に託した夢

# ANTIQUITIES



2011年10月19日(水)—12月18日(日)

9時30分～16時30分(入館は16時まで) ◎休館日＝月曜日・火曜日(平日・祝日にかかわらず)

◎観覧料＝一般 400円 / 高校生・大学生 300円 / 小学生・中学生 200円

※20名以上の場合は団体観覧料が適用されます ※70歳以上の方・身体障害者手帳をお持ちの方は無料

11日(土)、13日(日)は「関西文化の日」。無料で入館できます。



京都大学総合博物館

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 TEL (075)753-3272  
<http://www.museum.kyoto-u.ac.jp>



開館10周年記念企画展

# EGYPTIAN ペトリーと濱田が京大エジプト資料に託した夢 ANTIQUITIES

京都大学総合博物館は、今年、開館10周年の節目の年を迎えました。それを記念して、文学研究科考古学研究室と共同で展示準備委員会を組織し、京都大学が所蔵してきたエジプトの考古資料を初めて本格的に公開することを企画しました。

京都大学のエジプト考古資料は、約100年前にイギリスから贈られたものです。京都帝国大学考古学教室の初代教授濱田耕作と、ロンドン大学教授フリンダース・ペトリーとの交流の中で所蔵資料は充実し、古代エジプトを研究するための基本的な考古資料のコレクションとなりました。

現在、総合博物館では、文学研究科考古学研究室と協力して、来年度の目録完成を目指してエジプト考古資料の調査を進めているところですが、その過程で、取藏品の学術的価値を再認識しました。

また、展覧会を開催するにあたって、エジプト探査協会並びにロンドン大学ペトリー・エジプト考古学博物館で調査を行い、どのような経緯で寄贈されたのかが明らかとなりました。さらに、古人骨やコプト織物、鳥のミイラなどいくつかの資料に対して、生物学的研究や最新の技術を用いた解析を進め、新たな発見が生み出されつつあります。

今回の展覧会では、100年前に発掘された考古資料とともに、現代的関心の下で実践された研究の成果を合わせて展覧します。エジプトの悠久の歴史はもちろんのこと、日本における考古学の歴史、大学における研究の姿に触れていただける機会になれば幸いです。

写真：《背景》ネフェルヘテプセネフの石碑 《表面》人物像頭部、スカラベ 《裏面》左側上から、人形棺断片、スカラベ等護符 右側上から、彩文土器、フロント製ナイフ、象牙製獅子像、シャブティ、ベス神護符付首飾、木棺蓋部分、コプト織物



## 京都大学総合博物館

〒606-8501 京都市左京区吉田本町  
TEL (075) 753-3272  
FAX (075) 753-3277  
info@inet.museum.kyoto-u.ac.jp  
http://www.museum.kyoto-u.ac.jp/

### 【交通機関】

- 京阪電車「出町柳駅(でまちやなぎえき)」下車徒歩約15分
- 市バス JR/近鉄京都駅から17・206系統、阪急河原町駅から3・17・31・201系統、地下鉄烏丸線今出川駅から201・203系統、地下鉄東西線東山駅から31・201・206系統、「百万遍(ひゃくまんべん)」下車徒歩約2分

※駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。

